

『ポイントレクチャー刑事訴訟法』

(M.T.・学部生・20代)

私は、2019年度より法科大学院既修コースに進む予定の者です。

これまで刑事訴訟法については概説書(『入門刑事手続法〔第7版〕』)を一通り読んだ程度であり、「入学までに基礎固めをしておかなければならないな」と感じていました。そのような時に、この本(モニター募集)が目にとまり、応募させていただきました。

まずは、通読することを目標に読みはじめました。この本は刑事訴訟法の各テーマについて30の[UNIT]で構成されており、飽きることなく読み進めていくことができました。判例もかなり詳細に記述されており、内容が複雑な部分や統計については、表や図によって整理されているなど、より理解しやすい工夫がなされていると感じました。個人的には、科学的捜査手法の項目でアメリカの制度を紹介・分析しているところが印象深かったです。本書がソフトカバーであり、かつ、横書という点でも、本に親しみやすく、苦なく読み進められたので良かったです。

『法学教室』2019年6月号(No.465)掲載「Reader's Voice」より